



日本共産党品川区議会議員

週刊 みやざき克俊

事務所 品川区豊町6-2-1 Tel.3786-6674

2009年1月11日 No.647

日本共産党品川区議団ホームページ http://www.jcp-shinagawa.com/

「シロート」の
「意見」を
お寄せください



区民の願い
163項目

区長に要望書提出

くらし・営業守る新年度予算を



濱野区長(右端)に予算要望を説明する共産党区議ら(左がみやざき・12月12日)

日本共産党品川区委員会と区議団は昨年12月12日、新年度予算に対する要望書を濱野区長に提出しました(写真)。要望は区民から寄せられた願いを反映した163項目です。濱野区長は「予算編成にあたって検討する」とのべました。(ウラ面につづく)

年街年始・閉庁中の対策で 副区長に緊急要請

暮れのおし迫った12月24日、日本共産党品川区議団は濱野区長宛に緊急要請しました。内容は①年末年始の休み期間も相談できる体制。②ネットカフェ難民などへの宿泊施設・食料の支援。③区として臨時職員の雇用創出の3点。大企業が次々に派遣社員、期間工の雇い止め、首切りを発表。年末に職を失い住む家もなくなることは人道上也許されません。独自で臨時職員採用や住宅提供など対策をとる自治体もあり、品川区も緊急策が求められています。対応した本間副区長は、要望は区長に伝えると答えました。

日本共産党は新年度予算を
①中小企業と雇用支援。②医療や税負担の軽減。③子育ての負担軽減。④区臨時職員などの労働条件改善。⑤巨大ビル建設優先を転換し住宅の耐震化促進。⑥学校選択制を中止し30人学級実現の6点を貫くよう求めるとともに163項目の要望を提出します。

中小企業支援

●商店街装飾灯電気代補助を全商店街で補助率50%以上に引き上げること●信用保証制度による融資の本人負担ゼロにするるとともに融資ワクを拡大すること●公契約の下請け・孫請け労賃が適切に支払われるようにすること●消費税引き上げに反対し食料品非課税を求めること。

高齢者・障害者・低所得者福祉

●高齢者の医療費助成制度を創設すること●介護保険料の引き上げは行わないこと。保険料と

サービス利用の減免制度を充実すること●家族のいる場合でも必要な介護サービスが受けられるようにすること●特養老人ホーム、老健施設、グループホームを増設すること●都南病院跡地と原小学校跡に建設するケアホームは国民年金でも入れる利用料とすること●介護の労働条件改善へ介護報酬の引き上げを国に

09年度予算に対する要望(一部)

日本共産党品川区委員会・同品川区議団

営を基本とすること●認証保育園の保育料軽減の助成制度は所得資源を撤廃すること●父子家庭に対して支援すること。

リサイクルと環境改善

●家庭の生ゴミリサイクルを実施すること●すべてのプラスチックごみを回収し、サーマルリサイクルは中止すること●地球温暖化防止のため二酸化炭素の削

求めるとともに介護施設の補助を増額すること●授産施設など福祉的就労の利用料は廃止すること●障害者入所施設を増設し施設への補助を増額すること●生活保護費引き上げと老齢加算、母子加算を元に戻すこと●国民健康保険料を値下げすること。

子育て支援

●認可保育園を増設し公設・公

減目標を定め推進すること。

大規模開発・まちづくり・防災

●街づくりは計画立案段階から居住者および近隣住民への説明、合意を前提にすること●JR五反田駅、東急下神明駅、シルバークロスセンターなど公共施設のエレベーター、エスカレーター設置を促進すること●鉄道駅ホームの可動式柵の設置を各鉄道事業者に

働きかけること●ワンルームマンションへのファミリータイプ併設と投資型ワンルームを規制すること●都市計画道路補助29号線計画の廃止を都に働きかけること●区営住宅、高齢者住宅、障害者住宅を増設すること。

教育・若者の仕事

●学校統廃合計画を白紙撤回すること●就学援助を増額すること●就職相談、労働相談の実施。●生活再建支援を構築すること●大手企業を含め区内企業に採用ワク拡大、派遣・期間工を切り捨てないよう働きかけること。

情報公開・サービス向上

●長期計画は地域センター毎に説明会を開催すること●区の広報は全戸配布すること●臨海斎場への大井町からのバス路線を確保すること。以上

無料
弁護士が対応
法律相談は
1月30日(金) Pm 6:30
みやざき克俊事務所

